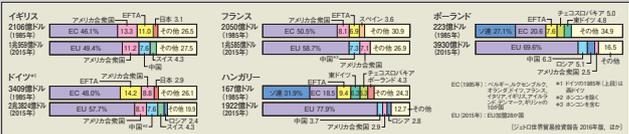


デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.72-73 EU の成り立ちとその影響
2. 目標 (1) EU 誕生までの経緯や、成立によってもたらされた国家間の結び付きを理解できる。
(2) EU 結成の背景と統合による人々の生活の変化について考えることができる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ EU 加盟によって加盟国や周辺国にもたらされる影響について理解している。
思考・判断・表現	・ EU 設立の理由について考察し、文章などで説明している。 ・ EU 統合により、人々の生活にもたらされた変化について考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)												
導入	<p>1. 「ドイツとポーランドの国境にかかる橋を渡る人々」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 「主な EU 諸国の貿易相手国・地域の変化」のグラフを見ながら、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.72 1 p.72 2</p> <p>2枚の国境の写真を見て、気付いたことを挙げてみよう。</p>  <p>「主な国の貿易相手国・地域の変化」</p> <p>1985年から2015年の間に、どのような変化があったのだろうか。</p>	<p>○ EU について知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 2枚の写真を示して国境の違いをつかませる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p> <p>○ 各国の貿易額が増加し、貿易相手国・地域に占める EU の割合が高まっていることに気付かせ、EU 加盟により貿易が活発になったと予想させる。</p>												
展開	<p>3. EU 誕生の経緯を理解し、統合を進めた背景を考える。</p> <p>(1) 統合の経緯</p>	 <p>p.73 3</p> <p>EU の変化をまとめてみよう。</p> <table border="1" data-bbox="790 1657 1072 1982"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>主なできごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1967</td> <td>フランス、イタリアなど6か国で(EC)を結成する。</td> </tr> <tr> <td>1993</td> <td>組織の名称が(ヨーロッパ連合(EU))になる。</td> </tr> <tr> <td>1999</td> <td>共通通貨の(ユーロ)を導入する。</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>クロアチアが加盟し、加盟国数が(28)か国となる。</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>(イギリス)が離脱し、(27)か国となる。</td> </tr> </tbody> </table>	年	主なできごと	1967	フランス、イタリアなど6か国で(EC)を結成する。	1993	組織の名称が(ヨーロッパ連合(EU))になる。	1999	共通通貨の(ユーロ)を導入する。	2013	クロアチアが加盟し、加盟国数が(28)か国となる。	2020	(イギリス)が離脱し、(27)か国となる。	<p>○ 学習プリントを活用し、EC 結成から EU 統合、共通通貨導入など、現在までの変化をまとめさせ、理解させる。</p>
年	主なできごと														
1967	フランス、イタリアなど6か国で(EC)を結成する。														
1993	組織の名称が(ヨーロッパ連合(EU))になる。														
1999	共通通貨の(ユーロ)を導入する。														
2013	クロアチアが加盟し、加盟国数が(28)か国となる。														
2020	(イギリス)が離脱し、(27)か国となる。														

学習課題：ヨーロッパでは、国境を越えた結び付きが強まることにより、人々の生活にどのような変化が見られたのだろうか。

